

～卒業生からのメッセージ①～

## 「進路実現のために」

Tくん（八千穂中学校出身）  
高崎健康福祉大学  
健康福祉学部 健康栄養学科

高校へ入学したときは、自分が将来何をやりたいのかがはっきりと決まっておらず、将来のことを考え始めたのは2年次の3学期からでした。元々、食に関わる仕事に興味があったことから管理栄養士を目指せる大学へ進学することに決めました。

当時の自分は、「オープンキャンパスや学校説明会などは班活を引退して一段落ついてからでいいか」と考えていました。しかし、それでは確実に遅いと思います。1、2年の時から少しでもいいのでオープンキャンパスなどに参加しておくことは後々になってとても重要になってきます。

私はAO入試と推薦入試を受けました。AO入試は一次試験である小論文（1200字）、それに合格すると二次試験である面接、集団討論という内容でした。小論文は先生方に指導していただいたおかげで上達していき、一次試験は合格することができました。しかし、次の二次試験では練習を全くしていなかったのが不合格でした。集団討論の練習不足の原因として、一次試験に合格したときに気が緩んだことが考えられます。このことを反省し、次の推薦入試まで気を抜くことなく試験対策を行いました。推薦入試は小論文と面接でした。小論文は想像していた出題のされ方とは全く異なっていましたが、今までたくさん練習や対策をしてきたので焦らず対応できました。面接も緊張することなく自分をアピールできました。結果は合格でした。

高校生活というものは、一生忘れられない思い出をたくさん作ることができる時期であると同時に、自分が将来何になりたいかを人生のなかで一番真剣に考える時期であると思います。

ぜひ、この3年間を悔いの残らぬよう、有意義にすごしてください！